

記者発表資料 3枚

令和8年2月10日
福島県道路整備課
福島県県中建設事務所

いわき石川線 石川バイパス が令和8年夏頃に全線開通します。

いわき石川線は、いわき市から石川町までを結ぶ延長約54kmの主要地方道であり、中通りと浜通りを相互に連結し、広域的な物流、観光、救急医療などを支える重要な幹線道路です。

石川町においては、市街地を通過する現道の渋滞緩和及び狭隘区間の解消を目的とし、平成16年度から石川バイパスとしてL=5.0kmの道路整備事業を進めてまいりました。

このたび、石川バイパス1工区の工事が進捗し、既に開通している区間と合わせて延長約5kmの全線が令和8年夏頃に開通する見通しとなりましたのでお知らせします。

記

□ 1 開通見通し

令和8年夏頃

2 開通区間

石川バイパス1工区 (L=1.66km)

別紙1「位置図」参照

3 事業概要

別紙2「事業概要」参照

4 その他

式典や供用開始の日程が決まり次第、別途お知らせします。

【問い合わせ先】

土木部 道路整備課 主幹兼副課長 吉田 和成

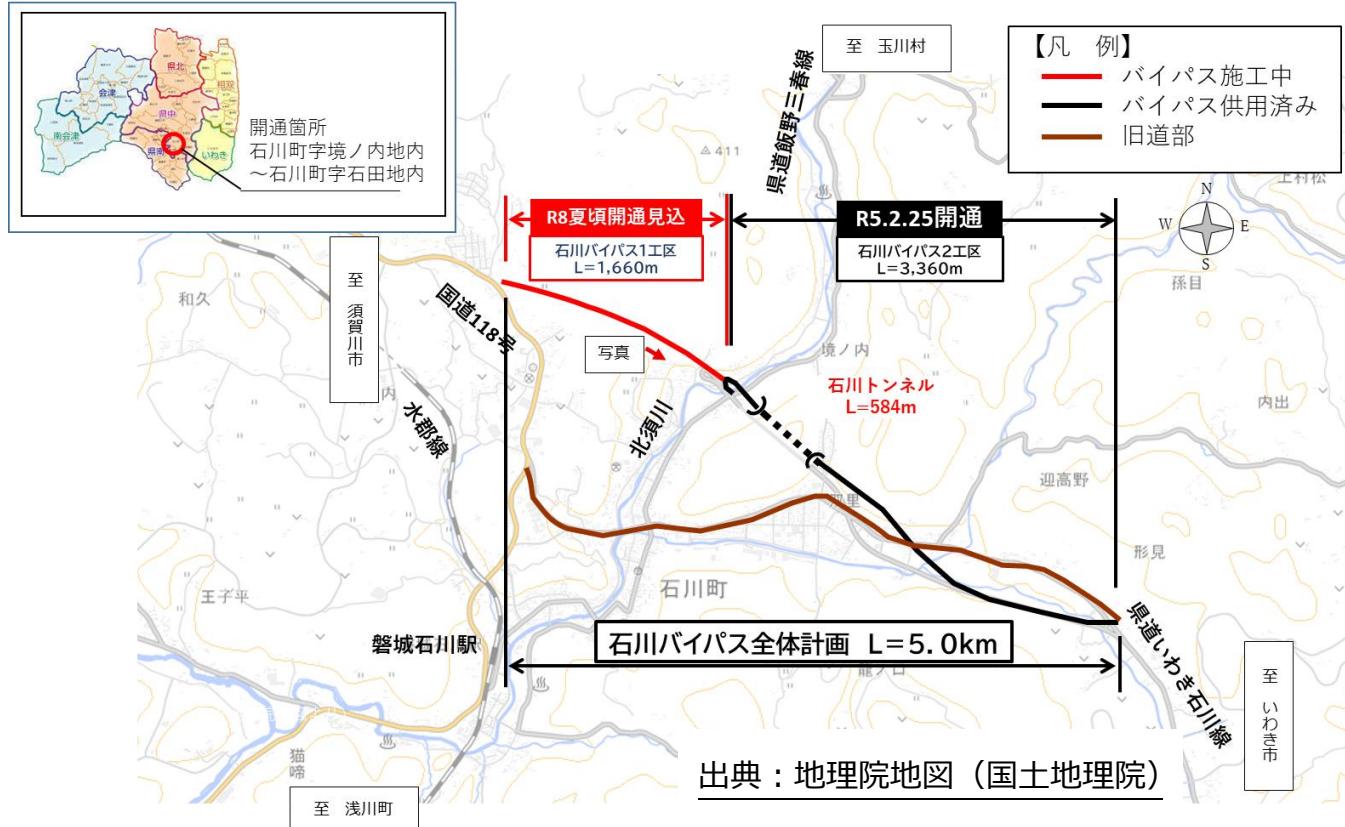
電話 024-521-7502(内線 3570) FAX 024-521-7951

県中建設事務所 主幹兼事業部長 吉田 秀一

電話 024-935-1402(直通) FAX 024-935-1444

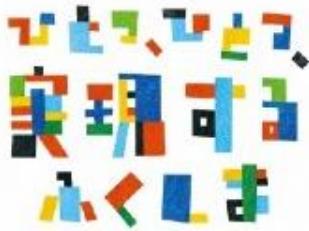
別紙1

位置図



航空写真





別紙2

事業概要

いわき石川線は、いわき市を起点とし、石川町までの延長約54kmの主要地方道であり、中通りと浜通りを繋ぐ重要な幹線道路であり、南東北の物流拠点である重要港湾小名浜港と中通りをはじめとする県内各産業集積地を結ぶ物流の支援道路として利用されております。

本事業は、石川町の中心市街地における渋滞緩和及び狭隘区間の解消を目的として平成16年度から着手し、東日本大震災以降は、県内の復興を支援する東西連携道路として整備を進めてきました。

全線開通に先立ち、早期の事業効果を発揮するために、令和5年2月に石川バイパス2工区の全区間($L=3.36\text{km}$)を開通し、このたび、石川バイパス1工区の全区間 ($L=1.66\text{km}$) の工事が完了見込みとなりました。

全線開通により、中通りと浜通りの相互連結が強化され、広域的な物流網の強化、観光をはじめとする地域間の交流人口の拡大、救急医療のネットワーク強化が期待されます。

■ 事業概要

事業区間	石川郡石川町大字形見地内～石川郡石川町字石田地内 <u>石川バイパス1工区 延長 1,660m (R8夏頃開通)</u> <u>石川バイパス2工区 延長 3,360m (R5.2.25開通済)</u>
幅員	車道幅員 6.5m (道路幅員 11.0m) ※下記「標準横断図」参照
事業期間	平成16年度～令和8年度

■ 事業の経緯

平成16年度	事業着手
平成30年度	トンネル工事着手
令和4年度	2工区供用開始
令和8年度	1工区供用開始

■ 標準横断図 (一般部)

